



2022年(令和4年)

10月

No.732 since1961

広報 しばた

柴田高校生が地元の花きをPR

柴田高校茶華道部が町内の鉢花や花きのPRを図るため、ポットマムやトルコギキョウを使ったフラワーアートを制作しました。

今後もJR船岡駅などでフラワーアートの制作や展示を行う予定です。

【9月10日(土) JR槻木駅】

令和3年度一般会計決算の概要

令和3年度は、新型コロナウイルスワクチン接種事業をはじめ、コロナ禍においてさまざまな困難に直面した住民税非課税世帯や子育て世帯への臨時特別給付金など、新型コロナウイルス感染症対策に全力を挙げて取り組みました。また、船岡中学校と船迫中学校の武道場の大規模改修や校庭の整備、役場庁舎の耐震化や保健センターの大規模改修工事など、投資的経費の決算額は約22億円となりました。

形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を除いた実質収支は、4億9,249万円の黒字となりました。

※端数調整の関係上、集計が一致しない場合があります。

令和3年度一般会計決算の内訳

一般会計	令和3年度	令和2年度	前年度比
歳入	186億1,344万円	216億6,102万円	△30億4,758万円
歳出	180億6,638万円	210億4,771万円	△29億8,133万円
形式収支(歳入－歳出)(A)	5億4,706万円	6億1,331万円	△6,625万円
繰越財源(B)	5,457万円	1億3,222万円	△7,765万円
実質収支(A)－(B)	4億9,249万円	4億8,109万円	1,140万円

一般会計 歳入

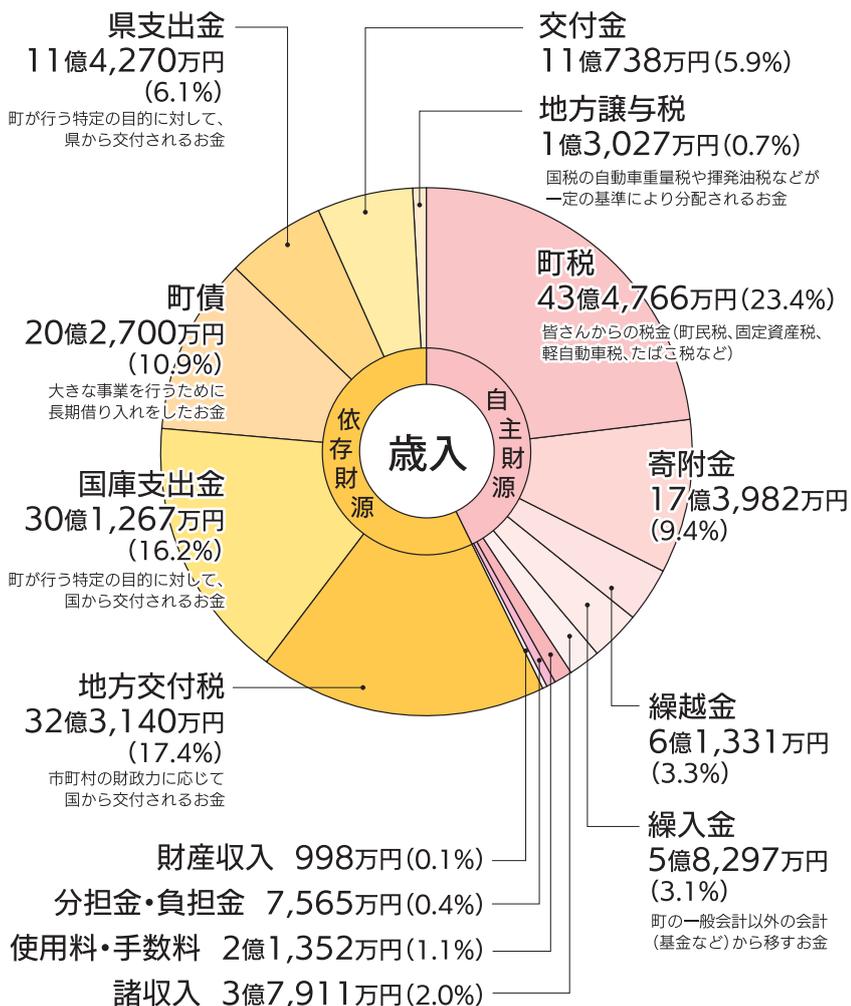
186億1,344万円

決算額の構成比で23.4%を占める町税は、固定資産税・都市計画税が新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者に対する減免の影響により前年比1%減の43億4,766万円となりました。

町税に次ぐ構成比17.4%を占める地方交付税は、普通交付税の増加により前年度と比較し18.2%増の32億3,140万円となっています。

また、国庫支出金が前年度と比較して53.4%減の30億1,267万円となったのは、令和2年度に1人10万円が支給された特別定額給付金給付事業終了の影響によるものです。

寄附金は前年度と比較し1.9%増の、17億3,982万円となりました。「花のまち柴田」をテーマとしたプロモーション活動を積極的に展開した結果、ふるさと柴田応援寄附金が昨年度と同様の水準となりました。



一般会計 歳出

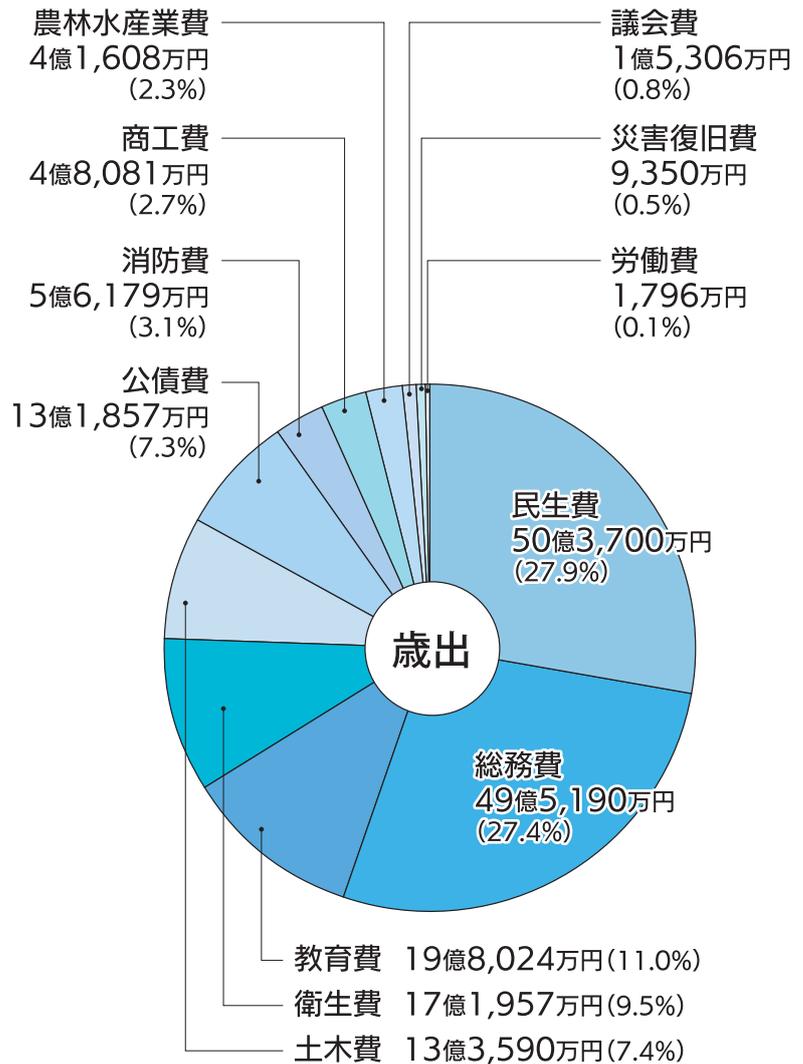
180億6,638万円

民生費は子育て世帯並びに住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の給付などにより、前年度と比較して20.6%増の50億3,700万円となりました。

総務費が前年と比較し37.8%減の49億5,190万円となったのは、歳入と同様に令和2年度に実施した新型コロナウイルス感染症による特別定額給付金給付事業終了の影響によるものです。

教育費では、将来を担う子どもたちの教育環境の整備のため、船岡中学校と船迫中学校の武道場の大規模改修、校庭の整備、槻木小学校と船迫小学校の体育館放送設備の改修工事を行いました。

また、土木費では西船迫一丁目、剣水、大住町、若葉町地区などで雨水対策工事を実施したほか、河川の浚渫工事を行い、安全安心なまちづくりの推進を図りました。



※令和4年3月末の人口(37,135人)で算出

町民一人あたりで見た決算額(一般会計)

歳出総額 (使ったお金) 486,505円

<p>民生費</p> <p>135,640円</p> <p>障がいのある方や高齢者への福祉、子育て支援の経費</p>	<p>総務費</p> <p>133,349円</p> <p>財産管理、町税賦課などの経費</p>	<p>教育費</p> <p>53,325円</p> <p>学校教育や生涯学習、スポーツ振興などの経費</p>	<p>衛生費</p> <p>46,306円</p> <p>環境の保全や疾病予防のための経費</p>	<p>土木費</p> <p>35,974円</p> <p>道路や公園整備、施設建設の経費</p>	<p>公債費</p> <p>35,507円</p> <p>町債を返済するための経費</p>
<p>消防費</p> <p>15,128円</p> <p>消防・救急業務、災害対策のための経費</p>	<p>商工費</p> <p>12,947円</p> <p>商工業や観光の振興のための経費</p>	<p>農林水産業費</p> <p>11,205円</p> <p>農林業の振興や生産基盤整備のための経費</p>	<p>議会費</p> <p>4,122円</p> <p>議会運営のための経費</p>	<p>災害復旧費</p> <p>2,518円</p> <p>災害により被災した施設を復旧するための経費</p>	<p>労働費</p> <p>484円</p> <p>労働者の生活安定や福利増進事業のための経費</p>

令和3年度の主要事業と決算額

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業



洋式化・自動水洗化した東船岡駅のトイレ

■事業費	：	5億5,318万円
■財源		
町	：	2,208万円
国・県補助	：	4億8,180万円
その他	：	4,930万円

○主な事業

- ・公共的施設等の安全安心確保対策事業
- ・新型コロナウイルス感染症対策実施事業者支援事業
- ・学校における新型コロナウイルス感染症対策事業



飲食店や直売所の消費拡大を目的としたスタンプラリー

- ・ひとり親家庭・妊婦等への生活支援臨時給付金事業
- ・緊急小口資金利用者家計支援事業
- ・コロナ禍等における子どもや女性の負担軽減を図るための支援事業
- ・コロナワクチン接種における高齢者・障がい者等交通弱者に対する移動手段確保支援事業
- ・就学援助費受給認定者家計支援事業
- ・事業者家賃支援事業
- ・歩くことからはじめよう、新たな生活。「歩くまち柴田-SHIBATA TALK-」推進環境整備事業

子育て支援関連事業



改修した槻木保育所の中庭

■事業費		11億6,395万円
■財源		
町	：	1億7,774万円
国・県補助	：	9億1,360万円
その他	：	7,261万円

○主な事業

- ・子育て世帯への臨時特別給付金給付事業
- ・子ども医療費助成事業
- ・子ども食堂開設運営費補助

教育環境整備事業



船岡中学校武道場

■事業費		3億5,776万円
■財源		
町	：	7,042万円
国・県補助	：	1億 364万円
その他(起債など)	：	1億8,370万円

○主な事業

- ・中学校武道場大規模改造事業(船岡中、船迫中)
- ・G I G A スクールサポーター配置支援事業
- ・新図書館建設用地取得

道路整備事業



町道土手内5号線

■事業費	2億9,148万円
■財源	
町	: 3,498万円
国・県補助	: 7,602万円
その他(起債など)	: 1億8,048万円

○主な事業

- ・町道富沢16号線道路改良工事
- ・町道船岡中央25号線外舗装修繕
- ・町道船岡西1号線道路灯新設工事

防災対策関連事業



役場庁舎

■事業費	14億7,516万円
■財源	
町	: 4億5,831万円
国・県補助	: 1,148万円
その他(起債など)	: 10億 537万円

○主な事業

- ・庁舎・保健センター耐震補強等工事
- ・雨水対策工事(西船迫一丁目・船岡若葉町・下名生剣水地区など)
- ・五間堀川緊急浚渫

その他新規事業



申請書の記入が不要な証明書窓口受付システム

■事業費	9,357万円
■財源	
町	: 4,347万円
国・県補助	: 3,060万円
その他	: 1,950万円

○主な事業

- ・証明書窓口受付システム
- ・特殊詐欺撃退電話機等購入補助

健康・福祉関連事業



新型コロナワクチン接種

■事業費	14億4,720万円
■財源	
町	: 7億2,725万円
国・県補助	: 7億1,540万円
その他	: 455万円

○主な事業

- ・新型コロナウイルスワクチン予防接種事業
- ・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業
- ・しばた健康づくりポイント事業

令和3年度 特別会計

■国民健康保険事業特別会計

令和3年度の歳入は、40億4,256万円で前年度と比べ2億770万円、5.4%増、歳出は39億8,981万円で前年度と比べ1億9,430万円、5.1%増となりました。歳入から歳出を差し引いた額5,275万円を剰余金として計上しました。保険給付費は、新型コロナウイルス感染症拡大による受診控えがあった令和2年度の反動により、前年度と比べ6.4%増の30億763万円となりました。被保険者数は7,992人で前年度と比較し80人減少しています。

歳入総額	40億4,256万円
県支出金	30億5,281万円
国民健康保険税	6億8万円
繰入金	3億3,790万円
繰越金	3,935万円
国庫支出金	134万円
その他	1,108万円

歳出総額	39億8,981万円
保険給付費	30億763万円
国民健康保険事業費納付金	8億7,692万円
保健事業	4,375万円
基金積立金	3,572万円
総務費	2,231万円
その他	348万円

■介護保険特別会計

令和3年度の歳入は、32億391万円で前年度と比べ5,779万円、1.8%増、歳出は29億8,288万円で前年度と比べ6,040万円、2.1%増となりました。歳入から歳出を差し引いた額2億2,103万円を剰余金として計上しました。保険給付費は、通所介護サービス給付費および短期入所生活介護給付費が減少したことにより、前年度と比べ0.9%減の25億7,657万円となりました。

歳入総額	32億391万円
保険料	7億3,479万円
支払基金交付金	7億2,696万円
国庫支出金	6億133万円
繰入金	4億6,023万円
県支出金	4億5,671万円
繰越金	2億2,364万円
その他	25万円

歳出総額	29億8,288万円
保険給付費	25億7,657万円
地域支援事業	1億6,576万円
総務費	9,088万円
基金積立金	8,827万円
諸支出金	6,140万円

■後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計は、主に被保険者から集めた保険料を県後期高齢者医療広域連合に納めるための会計です。令和3年度の歳入は、4億2,226万円で前年度と比べ505万円、1.2%増、歳出は4億2,123万円で前年度と比べ539万円、1.2%増となりました。歳入から歳出を差し引いた額103万円を剰余金として計上しました。被保険者数は5,314人で前年度と比較し84人増加しています。

歳入総額	4億2,226万円
後期高齢者医療保険料	3億3,618万円
繰入金	8,443万円
繰越金	138万円
その他	27万円

歳出総額	4億2,123万円
後期高齢者医療広域連合納付金	4億1,284万円
総務費	714万円
諸支出金	125万円

■土地取得特別会計

平成24年度に総合体育館整備用地取得のために借入れた4億4,000万円のうち、元金および利子あわせて4,910万円を償還しました。

歳入総額	4,910万円
繰入金	4,910万円

歳出総額	4,910万円
公債費	4,910万円

令和3年度 公営企業会計

■水道事業会計

令和3年度は令和2年度と比較し、給水人口は259人減の37,107人でした。施設整備では老朽管の布設替えや葉坂ほ場整備事業に伴う受託事業により2,437.5mの配水管整備を行いました。

収益的収支においては差引額3億5,100万円から仮払消費税等を差し引いた3億2,116万円を純利益として計上し、資本的収支においては4億3,297万円の不足分を積立金などで補てんしました。

収益的収支	
収入	13億5,310万円
支出	10億 210万円
差引額	3億5,100万円
資本的収支	
収入	8,074万円
支出	5億1,371万円
差引額	△4億3,297万円

■下水道事業会計

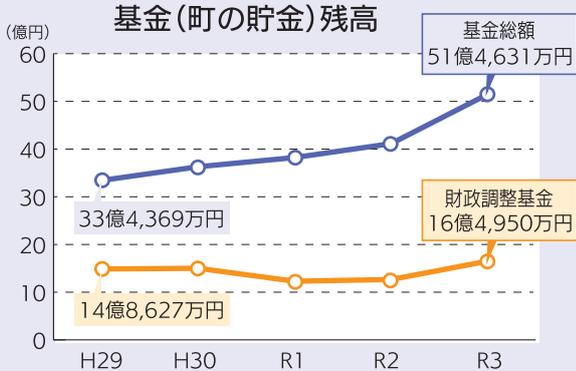
令和3年度は令和2年度と比較し、下水道処理人口普及率は1.13%増の81.21%となっています。また、船岡字上大原、中名生字佐野などが新たに公共下水道供用区域に追加されています。

収益的収支においては差引額7,672万円から仮払消費税等を差し引いた4,321万円を純利益として計上し、資本的収支においては2億7,614万円の不足分を留保資金などで補てんしました。

収益的収支	
収入	12億 272万円
支出	11億2,600万円
差引額	7,672万円
資本的収支	
収入	12億6,521万円
支出	15億4,135万円
差引額	△2億7,614万円

基金残高(貯金額)・町債(借金額)の状況

町の貯金は、ふるさと柴田応援寄附金などの積立により、総額が51億4,631万円となりました。また、財政調整基金も過去最大となっています。町の借金にあたる町債は、役場庁舎の耐震化といった大規模事業により前年度より増加しています。



財政健全化判断比率などの状況

町では、いずれの指標も国が定める財政の早期健全化や再生の基準を大幅に下回っており、収支のバランスの取れた、健全な財政運営が行われています。

区 分		令和3年度	令和2年度
実質赤字比率	早期健全化基準 13.61% 財政再生基準 20.00%	該当なし	該当なし
一般会計などの実質赤字の比率			
連結実質赤字比率	早期健全化基準 18.61% 財政再生基準 30.00%	該当なし	該当なし
全ての会計の実質赤字比率			
実質公債費比率	早期健全化基準 25.0% 財政再生基準 35.0%	4.1%	3.7%
公債費および公債費に準じた経費の比重を示す比率			
将来負担比率	早期健全化基準 350.0% 財政再生基準 —	61.9%	32.8%
地方債残高のほか一般会計などが将来負担すべき実質的な負担を捉えた比率			
資金不足比率	経営健全化基準 20.0%	該当なし	該当なし
水道・下水道事業会計ごとの資金不足の比率			



188

柴田町長 滝口 茂

長年、公園はブランコ、砂場、ベンチといった主に子どもたちの利用を想定してつくられていたため、利用する人は限られていました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、人と人との距離の確保、いわゆるソーシャルディスタンスが求められたことから、密を避けるため、身近な公園で過ごす新たな生活スタイルが定着してきました。

近年、国においては、緑とオープンスペースによる、都市のリノベーションを推進し、持続的な発展に結び付けることを提唱しています。昨今のコロナ禍も一つの大きな契機となり、各自治体では、歩道や緑地を積極的に広げたり、多くの人が自由に過ごすことができる「みんなの広場」であるオープンスペースづくりに着手し始めています。

そこで町では、今回新たなリーディングプロジェクトとして「図書館を核とした交流ゾーン整備による市街地の賑わい創出事業」を計画し、その中で町のシンボルとなるようなオープンスペースの整備を図ることにしました。現在、プロジェクトの実現に向け、県内で2番目に策定した立地適正化

オープンスペースからの都市づくり

計画に基づく都市再生整備計画（計画期間：令和5年から9年）の策定に着手しています。12月に国の事業採択が受けられるよう全力を挙げて取り組んでいるところであります。

この計画では、「歴史文化の拠点となる『ゾーン』」、「新たな知の拠点となる新図書館を建設するゾーン」、「観光の拠点となっている船岡城址公園をさらに魅力アップするゾーン」を一体的に整備するものです。さらに3つのゾーンを結ぶ道路などは、通常の道路と違った高質でウォークアブルな空間として整備を図ります。子どもからお年寄りまで幅広い年代が思い思いの時間を過ごしたり、イベントなどを通じて多くの人が交流し、楽しい時間が持てる開放的な場所になるよう、若い方々と専門家が参加したワークショップを通じて、具体的な事業内容を詰めてまいります。アフターコロナにおけるニューノーマルな生活スタイルには、便利さや快適さに加えて心を癒せる都市空間の整備が是非とも必要です。

私は、緑とオープンスペースを兼ね備えた質の高い都市空間づくりこそが都市の風格を育み、ひいては柴田町が都市間競争に打ち勝つための武器になると考えています。

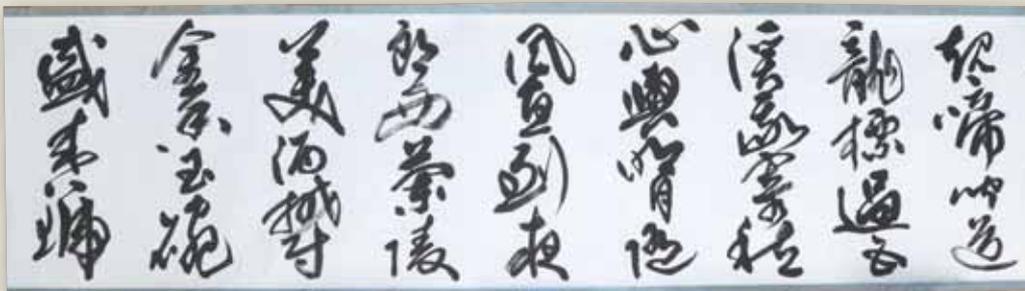
芸術空間

Shibata Art Gallery

No. 19

『李白詩四首』卷子(書)

大浦 清漣



李白の詩四首 112文字、幅 29cm× 全長 360cm の卷子(かんす)作品です。(一部抜粋)



大浦 清漣(玲子) 昭和22年生まれ。

●平成26年教育書道会理事長および素心書道会会長に就任。読売展、日展、日本の書展、芸術院展、青潮展、素心会展へ作品を多数出展。槻木書道教室や町外の書道サークルでの講師なども行っている。



健康情報クリップ

なるほど!

みんなの健康ライフ シリーズ95

第95回のテーマは、 「朝ごはんを食べよう」です。

皆さんは毎日朝食を食べていますか。令和2年度に実施した町民アンケートでは、20～30代の約3割が毎日朝食を食べる習慣が無いとの結果でした。「朝は食欲がない」、「元々朝食を食べる習慣がない」、「用意する時間がない」などの理由から朝食を食べない人が多くなっています。

朝食は単に栄養を摂取するだけでなく、一日を生き生きと過ごすための大事なスイッチでもあります。時間や余裕が無い中でも、工夫して朝食を食べる習慣をつけることが大切です。

毎日朝食を食べるとこんなにいいことが

毎日朝食を食べる人は、そうでない人と比較して…

①食事の栄養バランスが整う

たんぱく質や炭水化物、鉄、ビタミン類などの栄養素の摂取量が多いことが報告されています。

②生活リズムが整う

早寝、早起きの人が多く、睡眠の質が良い人が多いことや、不眠傾向の人が少ないことが報告されています。また、朝食を欠食する子どもは、夜食の頻度が高いことも分かっています。

③心の健康につながる

ストレスを感じていない人が多く、心の状態を良好に保てることが報告されています。

④学力や体力が向上し、学習習慣が身に付く

学力が高く、学習時間が長いことが報告されています。また、体力測定の結果が良いことも分かっています。

忙しい朝に朝食を食べるポイント

「毎日朝食を食べた方が良いのは分かっているけど、準備するのが大変だ」と感じている方に、忙しい朝でも無理なく朝食の準備ができる方法をご紹介します。

● 作りおきの活用

時間がある時に具だくさんのスープなどを準備しておくと、朝は温めるだけで食べられます。



● 朝食のパターンを決めておく

毎朝パターンを決めておけば悩まず準備できます。一品ずつ新しいメニューに変えるだけでレパートリーが広がります。

● 調理の必要のない食材を使う

・バナナ+ヨーグルト
・牛乳+シリアル など
栄養価が高いバナナやシリアルがオススメです。



栄養士からの アドバイス

仕事などで夕食の時間が遅くなると、朝にお腹が空かないため朝食を食べない原因になります。遅くなりそうな時は、夕食を2回に分けてみましょう。夕方におにぎりやサンドイッチなどの軽食を食べ、帰宅後はおかずだけ食べると翌朝の朝食に影響が出にくくなります。また、空腹で帰宅した後の食べ過ぎ予防にもなります。

図健康推進課 TEL55-2160

13 気候変動に
具体的な対策を



私たちとSDGs 連載⑬

問まちづくり政策課 TEL54-2111

ゴール 13. 気候変動に具体的な対策を

地球温暖化対策を行わず今の生活を続ければ、2100年には地球の平均気温は最大で4.8度上昇し、冬でも熱中症になる可能性があると言われていています。地球温暖化の主な原因である二酸化炭素やフロンガスなどの温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」が必要とされています。私たちも、近場への移動には車を使わない、省エネを心掛けるなど、できることから始めましょう。

まちかど NEWS



上手に手入れすることで11月頃まで楽しむことができます。



4色の花色が楽しめる鉢が人気でした。

ポットマム展示即売会

NEWS

9月16日(金)から19日(月・祝)まで、柴田町観光物産交流館さくらの里で、柴田町秋の風物詩となったポットマムの展示即売会が行われました。即売会に訪れた大野さん(村田町)は、「テレビでイベントが紹介されていたのを見て買いに来ました。菊と言うと黄色や白で花の形も似たようなもののばかりのイメージでしたが、花の色や形の種類が豊富で驚きました」と話してくれました。

親子で太陽の村の自然環境を学びました

NEWS

9月3日(土)、柴田町太陽の村で親子自然観察会が行われました。
太陽の村周辺の里山ハイキングコースを歩きながら、そこに生息している昆虫の生態や採取の方法、植物の種類などについて、里山ハイキング案内人が詳しく説明していました。
観察会に参加した奥山さんは、「子どもと一緒に地域の自然環境を知ることができる良い取り組みだと思います。また参加したいですね」と話してくれました。



身近な里山の自然の豊かさに参加者も驚いていました。

広 告

広 告

シン・町ジムでスポーツを習慣化

9月4日(日)、仙台大学を会場に、運動スポーツ習慣化促進事業「シン・町ジム」の開講式が行われました。

シン・町ジムは、仙台大学の教員や学生がトレーナーとなり、正しい筋力トレーニングやウォーキングの仕方を学び、楽しく体を動かしてスポーツの習慣化を目指します。

仙台大学の高橋仁学長は、「大学として皆さんの健康づくり、体力づくりにお役に立てれば幸いです」と話されました。



トレーニングマシンの使い方の指導も行われました。

金属のコマを作ってものづくり体験



コマの部品を接合する圧入の工程を体験しました。

9月7日(水)、槻木小学校で仙南地域の製造業に関わる企業で構成する、仙南マシニングクラブの技術者が講師となり、ものづくり体験教室が行われました。

金属製のコマ作りを通じて金属加工の技術に触れ、また商品がデザインから販売に至るまでのものづくりの流れについても学びました。

平間勇多君(6年生)は、「モノがどのように作られるのかについて勉強になりました。普段見ているものの方も見方変わりました」と話してくれました。



保育士の仕事体験では子どもたちのお世話をしました。

将来を描くきっかけづくり職場体験

9月8日(木)から14日(水)にかけて、槻木中学校と船岡中学校の2年生が職場体験を行いました。

キャリア教育の一環として町内40以上の事業所の協力を得て毎年実施しています。

生徒の皆さんは実際の仕事を体験することで、仕事への誇りや、やりがいを肌で感じ、また普段接する機会の少ない社会人との交流を通じ、働くことの意義を学んでいます。

この職場体験が、将来の職業選択のきっかけになります。

広 告

広 告



生き生きと過ごすために参考になる講座でした。

いっまでも元気で過ごすために NEWS 介護予防教室

9月16日(金)、船迫公民館で、介護予防教室出前講座が行われました。

第29C区町内会が地区の行事として、まちづくり出前講座を活用して実施したもので、介護予防について認知症への理解や地域活動の必要性などを交えながら分かりやすく説明がありました。

講師を務めた地域包括支援センターの稲荷さんは、「介護予防は特別なことではなく、人と繋がることで生きる目的になっていきます」と話してくれました。

太陽の村でデイキャンプ NEWS

9月17日(土)、柴田町太陽の村で、地域おこし協力隊の吉田隊員によるデイキャンプイベントが行われました。

普段はキャンプすることができない太陽の村ですが、この日は特別にテントを張り火も使用することができるとあって、焚き火などを楽しみながら、思い思いの時間を過ごしていました。

参加された方は、「テントの設営やご飯作りで燻製まで手が回らなかつたので、次回チャレンジしたいと思います」と話してくれました。



抜群のロケーションの中でデイキャンプを楽しみました。



8つの団体が出店したマルシェ。

第7回ゆる.ぷらはじめマルシェ NEWS

9月19日(月・祝)、柴田町まちづくり推進センターゆる.ぷらで、町内のボランティア団体が制作した小物などを販売し、団体の活動を知ってもらうことを目的としたマルシェが開催されました。

友人と訪れたという佐藤さんは、「ハンドメイドの小物が好きで、過去にも何回かマルシェには来ています。素敵で一点ものの作品と出会うことができる楽しいイベントだと思います」と話してくれました。

広 告

広 告

秋の柴田町はイベント盛りだくさん

町内ではさまざまなイベントが盛りだくさんです。
気持ちいい秋晴れの下、お出かけしてみませんか。

第3回しばたオータムガーデンフェスタ



秋の風情が香る船岡城址公園を会場に、秋のガーデンテラス・コンサート、軽トラガーデンコンテスト、花きの展示即売会など、「花のまち柴田」にちなんだ企画が盛りだくさんです。また、里山ガーデンハウス、さくらの里、三ノ丸を巡り3個のスタンプを集めると、先着順でしばたの花きをプレゼント。

そのほかハンギングフラワーや寄せ植えの講習会（要申込）もあります。詳細はお知らせ版10月1日号をご覧ください。みやぎ大菊花展柴田大会も同時開催しています。

日 10月29日(土)、30日(日) 所 船岡城址公園

問 (一社)柴田町観光物産協会 Tel56-3970 農政課 Tel55-2122 商工観光課 Tel55-2123

第20回バンドフェスタinしばた

さまざまなジャンルのバンドが野外ライブを盛り上げます。地元の飲食店の屋台や子ども広場もありますので、ライブ以外でも楽しむことができます。今回は、柴田町太陽の村から望む星空や夜景の中で音楽を楽しめるバンドフェスタの前夜祭も開催します。

○前夜祭 10月1日(土) 17:00~21:00 ○バンドフェスタ 10月2日(日) 10:00~15:30

所 柴田町太陽の村 (雨天決行)

問 太陽・自然・人・inしばた実行委員会 (舟山)Tel080-3328-4889

チアフルマルシェ(CHEERFUL MARCHE)

おしゃれな雑貨やアクセサリー、飲食店など約50ブースが出店する手作りマルシェです。

日 10月30日(日) 10:00~16:00 ※雨天中止 所 柴田町図書館駐車場

問 チアフルマルシェ実行委員会事務局 (岡崎)Tel090-7801-7896

福祉まつり2022

チャリティバザーやフリーマーケット、コミュニティカフェ、駄菓子屋、縁日などの催しがあります。

日 10月30日(日) 10:00~14:00 所 柴田町地域福祉センター

問 柴田町社会福祉協議会 Tel58-1771



こうほう 文芸

俳句

蓮咲いて姉のなきがら納むるや
 初秋の朝庭に一輪笑みこぼれ
 菊の花秋一番の花の宴
 夕暮の実る稲穂の匂いかな
 鳳仙花の花弁潰して爪染めて
 行く秋を農事忙しい背伸び影
 コロナ禍の茅の輪くぐりも3年目
 首の骨コキと鳴らして今朝の秋
 桔梗の人恋しくて開きけり

船岡 可沼 妙子
 船岡 安藤 節子
 槻木 加藤 マサ
 西船迫 安ヶ平奈津子
 飛鳥
 槻木 平間 三郎
 四日市場 鳥井崎
 中野西範子
 石垣テル子

虫時雨逢ひたき人は夢で会ふ
 厨より仏間床の間やんま飛ぶ
 耕せぬ田畑となりし麒麟草
 元氣だよ亡妻にひとこと墓掃除
 朝露に待たれて今日も始まりぬ
 いつまでも蒸し蒸しされどちちる鳴く
 傷つけて傷つく言葉濁り酒
 被曝野の空をかぶりて白日傘

制野 千秋
 遊佐 徹
 山家美智子
 三塚 直樹
 及川美沙子
 若月ノリ子
 大久保和子
 浪山 克彦

川柳

この季節行ったり来たり冷やと爛
 夏野菜つけ物佃煮ジャムも有り
 黒豆をゆでて味わい盛りのサヤ
 猫遊びロボットよりは血が通い

北船岡 日下 功
 船岡 小林 夢子
 槻木 村上 紫寿
 西船迫 安ヶ平良三

東北に扉を開けた甲子園
 目の検査天下公認年相応
 食べなれて生のゴーヤも美味しいよ

西船迫 後藤 文子
 四日市場 鳥井崎
 船岡 阿部美代子

短歌

今はもう遊ぶ児みえぬ公園に
 振花ばかり風にゆれるや
 阿武隈の流れる川面に七畝の
 山影映える自然顧みる
 甲子園みやぎの代表応援す
 ハラタドキタ声援送り
 拳あげ白河関こえ育英の
 すがたに涙涙なりけり
 こうべ垂れ一様に沈黙の様なりて
 稲穂は朝のしづく光らず
 「ただいま」とおやつ宿題遊びたい
 孫の悩みはどれからやるか
 斎場の若葉が繁る木洩れ日に
 娘の亡夫偲び今しも別る

船岡 可沼 妙子
 槻木 平間 三郎
 西船迫 下浦 智子
 船岡 鈴木 道子
 船岡 つかのめけいこ
 本船迫 森田 眞六
 槻木 白石 光子

早朝に花見蝶届けらる
 早速煮ふくめ朝餉なりけり
 窓の外ひ孫の詩いた向日葵が
 ばあちゃん元氣と笑つてる
 コロナ禍に延ばしいし夫の埋葬を
 子と済ます盆樹木葬の地に
 コスモスや種散りばめて二十年
 言うに言われぬ色合い生まる
 締め切り前二首も出来たよ
 この調子では長生きするよ
 病む人が人恋しさに手を握る
 ヒグラシ鳴いてたそがれ迫る

船岡 伊藤タイ子
 西船迫 星 裕子
 西船迫 沢田 順子
 西船迫 安ヶ平良三
 四日市場 鳥井崎

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで10月13日(木)までご応募ください。 圃まちづくり政策課 Tel.54-2111

告 告

告 告



我が校の学力向上の取り組み

柴田小学校は、自然豊かな環境と少人数の良さを生かし、児童一人一人に応じたきめ細やかな指導により、健やかでたくましく自ら学ぶ子どもたちの育成を図っています。今年度は、本校ならではの個別最適な学びを実現するため、次の2つの取り組みを優先して学力向上を目指しています。

児童の向上心につなげる「そろえる活動」

一つの教室で学び合う児童にとって、温かな人間関係が構築されていることや公共のルールを守ることはとても重要です。「そろえる」をキーワードに、靴、傘、学習用具、ノートの取り方など、全員で整理整頓し統一することを子どもたちと確認し全校一丸となって取り組んでいます。きちんとそろえることを徹底するのはなかなか難しいことですが、子どもたちが意識的に取り組むことで、協力する心や向上心、自制心などを育て、達成感を味わわせたいと思っています。

学習習慣の定着を図り、自立や学びに向かう力を育てるため、全校で手製の筆記具置きを作り使用すること、短すぎる鉛筆は使わないこと、下敷きを使用して書くことなどを統一しています。またマイノート作りでは板書を書き写すだけでなく、友達の意見を参考にしたときや、自分の覚え書きは「青」ペンを使って加筆することなども統一しています。

「そろえる」というと整然と美しい様を想像します。しかしその反面、画一的なマイナスのイメージもあります。多様性を認めるという昨今の流れに反するようにも感じますが、「そろえること」ができた上で、突出して光る何かを個性と捉え、児童の持つ良さを伸ばしていきたいと考えています。

自ら学ぶ姿勢をつくる「ぐんぐんタイム」

帰りの会および放課後の時間を活用して、算数の問題にチャレンジする時間です。担任以外の先生も学級に一人ずつ入り、いつもよりさらに細やかな指導で対応することで、子どもたちのよさを伸ばす取り組みを行っています。「自分のペースでできるのがよい」、「分からないところをていねいに教えてもらえる」などの子どもたちの声をしっかりと受け止めながら、先生たちと一丸となって、柴田小学校の子どもたちの成長につなげていきます。



先生の説明を真剣に聞いて算数問題にチャレンジ

〔柴田小学校長 谷内 幸絵〕



柴田町 LINE 公式アカウント

イベントや防災・防犯情報など、生活に役立つ情報をお届けします。

二次元コードを読み取り、友だち追加してください。

問まちづくり政策課 TEL54-2111



広 告

瓦屋根の良さを 広めていきたい

有限会社米山産業 柴田営業所
佐藤 秀樹さん (37歳)

今回は、一般住宅の屋根瓦工事や外構工事を手掛ける(有)米山産業柴田営業所の佐藤秀樹さんを紹介します。



日本の伝統的な住宅に用いられる瓦屋根の施工を行う(有)米山産業に入社し18年目の佐藤さん。(有)米山産業は佐藤さんの祖父が創業した会社で、子どもの頃から近くで仕事を見ていた影響もあり、自身も将来は同じ仕事をしたと考えていました。

入社当初は瓦屋根の施工ではなく別の仕事を担当していましたが、途中から念願が叶い瓦屋根の施工を任せられるようになり、やりたかった仕事ができて幸せだといいます。「瓦屋根の施工は、屋根に下地を張った後、瓦棧と呼ばれる細長い木材を何本も這わせて、そこに瓦をビスやステンレス線で固定します。最後に棟と呼ばれる屋根の最上段に棟瓦を積み完成です。住宅1軒で数千枚の瓦を使用することもあります」と話します。

長く日本人に親しまれてきた瓦屋根ですが、安価な屋根材が開発されたことや、東日本大震災の際に、多くの瓦が揺

れにより屋根から落下したことなどのマイナスイメージがあり、最近では新築住宅に瓦を使う人が少なくなってきたと言います。

しかし、瓦屋根の良さについて佐藤さんは、「瓦屋根は、屋根と瓦の間に空気が通る構造になっているので、高温多湿な日本の風土に合っている工法です。また瓦は耐用年数が50年から100年と耐久性に優れ、メンテナンスの必要も少ないというメリットがあります。安全面においても近年ガイドラインが改訂され、建築基準法仕様となりました。全ての瓦を釘やビスで留付けます。台風や地震にも強いので、安心して瓦屋根を選んでもらいたいと思います」と話してくれました。

今後については「職人として責任ある仕事を行うことは勿論ですが、瓦屋根の良さを多くの方に伝えて良ければと思います」と話す佐藤さん。これからも頑張ってください。



棟の耐震補強用の金具などを取り付ける佐藤さん。



有限会社 米山産業柴田営業所
柴田町大字下名生字上納180
TEL55-3916

昭和24年創業(本社角田市)。
昭和50年に町内に営業所を開設。一般住宅の屋根瓦工事や外構工事を手掛ける。
従業員4人

人口と世帯数
(令和4年9月1日現在)



37,037人
(前月比28人減)



18,463人
(前月比16人減)



18,574人
(前月比12人減)



16,222世帯
(前月比6世帯増)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。